

9月 芸術鑑賞会

西高の「芸術鑑賞会」は毎年秋に、演劇→古典芸能→音楽のローテーションで開催されています。本物の芸術に触れることができる素敵な時間です。今年は古典芸能として「和泉元彌の狂言らいぶ」をコラニー文化ホールにおいて鑑賞しました。



和泉元彌さん



今年は「狂言」を楽しみました



昨年は演劇でした



一昨年の音楽では吹奏楽部とコラボも

「過去に行ってみたい。昔の人々の感性に触れてみたい」と古典の授業でふと思うことがある。そんな私にとって今回の狂言鑑賞は私を過去に連れていってくれた。笑いの面において変わらない日本人の感性。鑑賞している間、私は600年前の日本人になった感じがした。このような機会を通してもっと日本人らしさとは何かを知りたいと思った。
2年 加藤遙香(北西中)

「狂言は室町時代の人々と心を通わせることができる」この言葉の通り、私は狂言の鑑賞は時空を越えたタイムスリップではなく、生きた感動を誰もが同じ瞬間に感じることができるということを実感した。いまと昔の人々では、興味や関心を持つ対象は違うけれど、心の奥底に抱えている喜びや感動は変わらない。このことは時代が進んでも変わらないで欲しい。
1年 金子舞(山梨大附属中)

9月 秋季球技大会

西高では年に2回(秋と春)球技大会が行われます。期末試験終了後に、サッカー・ソフトボール・バレーボール・バスケットボール等数種目において学年オープンのトーナメント制で戦います。クラスの団結も高まる学校行事のひとつです。「負け犬の泉」もお楽しみに。



ホームラン



この声援で頑張れます



VS.教員チームも全力で



西高のロナウド(笑)



なでしこ西高

快晴の9月29日に行われた球技大会は新生徒会役員で運営する初めての行事でした。放送部とコラボした「甲州弁ラジオ体操」で始まり、最後の先生チームとのソフトボール対決まで、西高生の素晴らしいプレーがたくさん見られ、大成功の1日でした。3月には春季球技大会もあります。クラス最後の思い出づくりに全力で楽しみましょう。

生徒会 体育局長 2年 雨宮 菜(御坂中)

10月 健康の森ウォーキング大会

10月には、甲府市の緑が丘スポーツ公園をスタートし、千代田湖畔の「武田の杜」を經由して西高をゴールとする全長15.2kmの「健康の森ウォーキング大会」が開催されました。生徒はそれぞれの計画のもと、思い思いの秋の1日を満喫しました。



お母さん達に感謝です

私たち3年生にとって最後のウォーキング大会は天気恵まれ気持ちの良いスタートを切ることができた。周囲の山々を見渡せば木々が紅葉し始め、季節の移り変わりを感じた。日常生活の中で外の景色に目を向けることが少なかったので、とても新鮮な気持ちになった。友達とたわいもない話をしているうちに学校に着いてしまったが、受験勉強で毎日机に向かっていて私にとって、本当に良い息抜きとなった。
3年 小田切 歩絵美(白根御勅使中)

11月 国際交流(中国高校生訪日&EUがあなたの学校にやってくる&米国短期留学)

昨年のベトナムからの訪日団に続き、今年は約30名の中国の高校生が西高を訪問しました。短時間でしたが授業や部活動での交流が楽しめました。また「EUがあなたの学校にやってくる」ではチェコ大使館の事務次官が来校し、EUの成果や問題点などについての講演をいただきました。3月には米国ロサンゼルス姉妹校キャンベルホールスクールへの短期留学も実施されます。西高は国際理解・交流に力を入れ、国際社会で活躍しようという意欲を後押ししています。



1年生から質問



EUについて学びました



2週間の米国短期留学



チェコ大使館のスラネツさん



中国の高校生との交流



米国短期留学で桃太郎を英語で

《「EU があなたの学校にやってくる」に参加して》

日本に比べて多くの民族から成り立つEUの考え方は、私たちも生かしていくべきだと感じました。いろいろな考え方が様々な場面で反映されていく「学校」という集団の中で、私達はEUと同様に話し合いを丁寧に重ねて平和的に物事を解決していく、という簡単であたりまえの考え方を重視することが求められると思います。自分の利益だけでなく、全ての人が納得するような答えを導くことの大切さを学びました。
2年 小林 環(上条中)

《米国短期留学に参加して》

キャンベルの学校生活では、授業中の立ち歩きやお菓子や飲み物が自由で最初は戸惑いました。パソコンを使用した授業が多く、生徒も宿題をパソコンでやっていました。机の配置も日本とは大きく違いました。アメリカは机が円の形に並んでいて、お互いの顔を見ながら発言できる雰囲気でした。ホストファミリーに「なんで座ったまま授業を受けないの?」と聞いたら、「さまざまな人種の人が集まっているからだよ」と言われました。また、話し合い形式の授業が多く、授業中に静かになる時間があまりなく、まず先生が質問を投げかけ、その後は生徒が授業をつづいていっているような感じで、ほとんど全員が自分の意見を発言していました。自分の意見をしっかり持っていて、考える授業、積極的な授業態度がすごく印象に残っています。
3年(留学当時1年) 定金咲紀(押原中)